

更に、スポーツ少年団活動の育成を図るとともに、日独スポーツ少年団同時交流事業に積極的に取り組み、国際親善への役割を果たしたほか、各種国際競技大会に9名の選手を派遣した。

昭和70年に本県で開催される第50回国民体育大会の開催準備を推進するため、県知事を会長とする県民各層から成る「第50回国民体育大会福島県準備委員会」を設立し、併せて、県準備委員会の事務を処理するため、副知事を事務局長とする「第50回国民体育大会福島県準備委員会事務局」を設置し国体開催に向けて本格的な準備に着手した。

当該委員会の本年度事業としては、第1回総会において、今後の開催準備の基本となる開催方針を策定し、さらには、第1回常任委員会において、会場地選定基本方針、競技施設整備基本方針等を策定した。

また、昭和61年度以降の会場の選定に備え、これらの基本方針について各市町村及び各競技団体長に対する説明会を開催した。

1 体育関係

(1) 文部大臣

① 体育功労者賞（個人）

氏名・住所	役職名	主な功績
平直衛 (二本松市)	福島県スキー連盟会長 安達地方体育協会会長 二本松市体育協会会長 福島県体育協会理事	永年にわたり、福島県スキー連盟の会長として、組織の充実に努めるとともに、スキー競技の普及と競技力の向上に尽力した。 また、地域の体育協会の会長を努め、地域のスポーツ振興にあたっている。

② 社会体育優良団体賞

団体・住所	主な功績
棚倉町体育協会 (棚倉町)	町の体育・スポーツの統轄団体として、町民総合体育大会の開催をはじめ、各種スポーツ教室、指導者の養成講習会に指導者を派遣するなど、住民のスポーツ活動の推進に大きく貢献した。
いなほ陸友会 (東和町)	昭和45年、東和町ロードレース大会を開催、以来町教育委員会と一体となり、大会の発展・充実に会員の力を傾注し、全国各地から老若男女が多数参加する県内屈指の大会に発展させ、健康で明るい町づくりに貢献した。

(2) 財団法人福島県体育協会

① スポーツ功労賞

氏名	年齢	住所	功績
福場良平	75	いわき市	いわき地区弓道の普及発展に尽力
中村寛	67	会津若松市	多年にわたり本県スケート競技の普及発展に尽力
松本久	67	いわき市	いわき地区の学校体育及び社会体育の振興に尽力
猪狩友良	63	いわき市	本県、中学校の体育・スポーツの発展に貢献
梅津功一	61	須賀川市	本県クレー射撃協会の発展と選手養成に貢献

7 体育施設の整備

県民の体育・スポーツの振興を図るため、既設の県営体育施設等については、会津体育館の照明装置の改修を行った。

市町村の体育施設は、国庫補助事業により、学校体育施設として、市町村立小・中学校プール15か所、水泳プール上屋1か所、中学校柔剣道場1か所、学校体育施設開放諸施設7か所並びに社会体育施設として、体育館3か所、屋外水泳プール1か所、運動場3か所、野球場1か所、コート3か所、運動場照明施設5か所の整備が図られた。

第2節 保健体育関係表彰

体育・保健・安全・給食の各分野で、特に、功績のあった方々及び団体が、文部大臣・各関係団体等からそれぞれ表彰を受けた。

受賞者及び受賞団体は、次の通りである。